Panasonic

コスパを劇的改善!?

ファイルサーバーの容量不足を低価格で解消する方法

はじめに

ファイルサーバー運用に課題を感じているものの「ITコストを削減する必要がある中でベストな選択をできずにいる」といった課題を持つ担当者は少なくありません。ファイルサーバーのリプレイスには多額のコストがかかり、ストレージサーバーもコストがかかる上セキュリティやUI上の課題があるなど、担当者は八方ふさがりです。一方で、ファイルサーバーを賢く運用し、データひっ迫を防ぐだけでなく、コスト削減を実現している企業がいるのも事実です。そこでこの資料では、**コストを最低限に抑えつつファイルサーバーの運用を最適化する方法を紹介**します。

CONTENTS

はじめに P2

担当者を悩ますファイルサーバー運用に関する問題 P3

そもそもなぜデータ容量はひっ迫してしまうのか？ P4

大容量データを保存する選択肢は？ P5

グローバルで導入されているクラウドストレージとは？ P6

従来のクラウドストレージとWasabiの違い P7

Wasabiの2つの使用用途 P8

Wasabiの料金体系シミュレーション P9

ファイルサーバーの容量ひっ迫、コスト削減なら「Wasabi」 P10

© Panasonic Digital Co., Ltd.

担当者を悩ますファイルサーバー運用に関する問題

ファイルサーバーのリプレイスを控えている、あるいはデータ容量がひっ迫しているなか、コスト削減の実現を目標として掲げられているいる担当者は非常に多く、ファイルサーバーの運用に関して主に以下のような問題を抱えています。

ファイルサーバー運用に関する問題

ファイルサーバの空き容量が枯渇しかけており、都度削除しているが追いつかない

大容量データが多く、かつ保存が義務付けられている場合はひっ迫しやすい

ITコスト削減が目標に掲げられているが、データが肥大化する一方でデータ保存コストを削減できていない

容量を増やそうとするも予算削減によってデータ量が増え続ける

ファイルサーバのリプレイスを検討しているが、コストが高い

コスト削減を命じられている中、いちからファイルサーバーリプレイスを検討する余裕がない

オンプレからクラウドに移行したいがUIが変わるのは避けたい

クラウドストレージに変えるとなると、UIが大幅に変わるため、利用浸透に時間がかかる。

作成されたデータの約80%が数カ月使用されず、アクティブデータと一緒に高価なオンプレミスストレージに保存されている

ストレージがムダに消費される

各社がデータひっ迫問題をコストを削減しつつ解決しなければならない状況

© Panasonic Digital Co., Ltd.

そもそもなぜデータ容量はひっ迫してしまうのか？

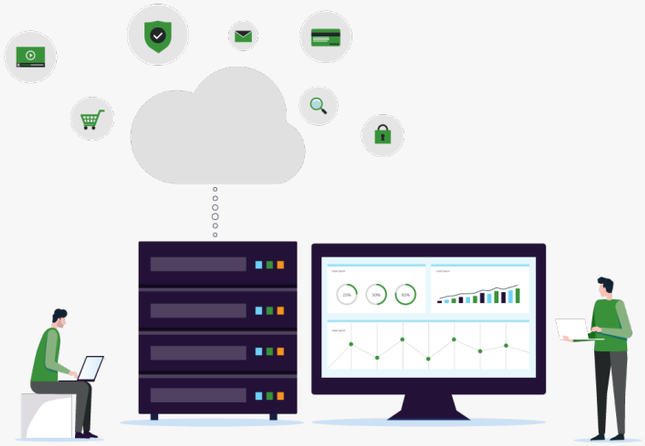
では、そもそもなぜファイルサーバーのデータ容量が枯渇してしまうのでしょうか。ここではその理由を詳しく紹介します。

データがひっ迫する理由

大容量データを取り扱っている

画像/映像/AI/Photoshop/カタログ/CAD/解析データなど、容量が大きいデータを扱っている企業ほどファイルサーバーの容量がひっ迫しやすく、運用難易度が上がる

ファイルサーバーの利用目的の変化



初期の想定よりも用途が増え、多くの部門やプロジェクトでファイルサーバーを共用することで、データ量が急増。これにより、容量が計画以上に使い込まれることがある

適切な容量管理が行われていない

ディスククォータや保存期間のポリシーが定められていない場合、無制限にデータが保存され続け、容量不足に陥る

データ容量がひっ迫していくことを前提に、上手く管理できる環境構築が必須

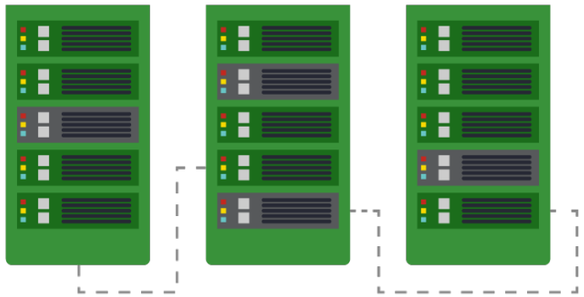
© Panasonic Digital Co., Ltd.

大容量データを保存する選択肢は？

では、データ容量ひっ迫に対してはどのような解決策があるのでしょうか。ここでは2つの選択肢を見ていきましょう。

大容量データの保存方法

01 ファイルサーバーの拡張/リプレイス



ファイルサーバーを拡張することでデータ容量ひっ迫を解決することができます。 一方で以下のようなデメリットがあるため注意が必要です。

デメリット

- 新しいハードディスクやストレージデバイスを追加する必要があり、**初期費用や保守コストが増加**する
- ファイルの整理やバックアップ、**アクセス権の管理が複雑**になる
- 物理的なスペースや電力供給の制約があり、**無制限に拡張することはできない**
- サーバーの設計上の限界に達すると、それ以上の拡張が難しい

02 クラウドストレージの導入

クラウドにデータを保存するクラウドストレージの導入も、データ容量ひっ迫の解決策です。しかし、以下のようなデメリットがあります。

デメリット

- ユーザ課金の費用体系がほとんとであり、**ユーザーが増えるとその分高額**になる
- フォルダ操作はブラウザまたはアプリケーション経由でアクセスするため、**UIが使いにくい**
- **セキュリティ対策**をする必要がある

ファイルサーバーのひっ迫を解決する理想形は安くて管理がしやすく、使い易いストレージの活用

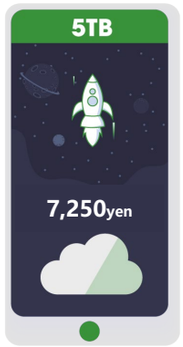
© Panasonic Digital Co., Ltd.

グローバルで導入されているクラウドストレージとは？

ファイルサーバーの容量ひっ迫とコスト削減を同時に解決するのが、クラウドストレージ「Wasabi」です。Wasabiは圧倒的に低価格な点が最大の特徴であり、**転送料金が無料のため予算を立てやすい**というメリットもあります。ハイパフォーマンスかつ強固なセキュリティを構築しており、グローバル各社に導入されています。

クラウドストレージ「Wasabi」の特徴

特徴 01



圧倒的低価格

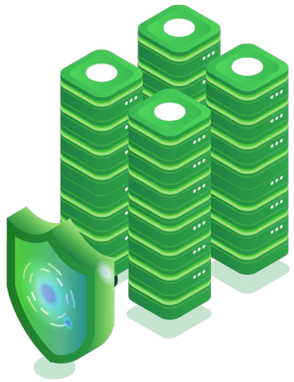
5TBで月額7,250円～。他のクラウドストレージと比較し約80%安価であり、データ転送料も無料

特徴 02

ハイパフォーマンス

Wasabi独自のテクノロジーで高速ファイルシステムを実現

特徴 03



強固なセキュリティ

AmazonS3Standardと同じ99.999999999%のオブジェクト耐久性。オブジェクトロック機能で簡単にランサムウェア対策を実現

特徴 04

AWS S3互換

Amazon S3互換APIを完全サポート。これまでS3で使用しているアプリケーションの変更が不要

Wasabiは全世界80,000社に導入されているクラウドストレージ

© Panasonic Digital Co., Ltd.

従来のクラウドストレージとWasabiの違い

クラウドストレージには、SaaSクラウドストレージとオブジェクトストレージの2種類があります。それぞれの違いとWasabiとの違いは以下の通りです。

SaaSクラウドストレージ

Officeのファイルなどの保存に適しており、ブラウザやアプリケーション経由のアクセスになるが、ファイルサーバのような利用が可能

課金体系	ユーザー課金
適応データ	Office文書、PDFなどのファイル
UI	操作がブラウザ、アプリケーション経由のため、 従来の操作ができない

オブジェクトストレージ

写真や動画、センサーデータなどの保存に適しており、サーバからアクセスされるケースが多い

課金体系	容量課金・データ取り出し課金
適応データ	大量の写真・動画・センサーデータ
UI	階層型での保存ではないため、使いにくい

wasabi®

（オブジェクトストレージ）

課金体系	容量課金のため、ユーザーが増える分**コストメリットが大きくなる**
適応データ	大容量データをはじめ、**データを選ばない**
UI	従来通り**エクスプローラで操作できる**ため使いやすい

Wasabiはオブジェクトストレージでありながらも価格・操作性・UI面で優れている

© Panasonic Digital Co., Ltd.

Wasabiの2つの使用用途

WasabiはNASパターンと、オブジェクトストレージパターン、2通りの活用方法があります。

NASパターン

特徴 ファイルサーバーのように使用することが可能

向いている用途 業務上使用頻度が高いデータの格納

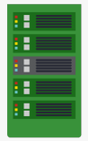
利用者

- **従来通りの操作感**
  利用者はクラウドを意識せず、従来通りの使い方で利用可能
- **別製品との組み合わせ**
  別製品と組み合わせて、さらに機能性の高いファイルサーバへカスタマイズ！
- **検索エンジン　・バックアップソフトウェア etc…**

CIFS
アクセス

ファイルサーバ

- **BCP対策**
  クラウドへのデータ保管のため、DR対策に活用可能有事の際もサーバ部分のみのリストアとなるため、復旧時間短縮！



暗号化通信
（SSL）

クラウドストレージ

全てのデータをクラウドに保存

オブジェクトストレージパターン

特徴 ファイル単位ではなく、Windows・Linuxも含め、オブジェクト単位でのデータ保管が可能

向いている用途 バックアップデータをはじめ、頻繁に使用しないものの大きいデータを格納したい場合

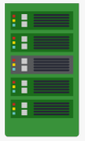
サーバ群

- **Veeamの機能をそのままに**
  バックアップ対象は、仮想基盤（ESXi、Nutanixなど）から物理サーバ、NASなどを幅広くカバー
- **M365のデータをバックアップ**
  バックアップ対象はSharepoint、Teams、Exchange、OneDriveをカバー

バックアップ

バックアップサーバ

- **Veeamとの連携**
  クラウドへのデータ保管のためDR対策に活用可能。一時バックアップとしてもWasabiにバックアップ可能



暗号化通信
（SSL）

クラウドストレージ

二次バックアップ先としてクラウドに保存

Wasabiを使いこなすには、自社に向いている活用方法を選択することが重要

© Panasonic Digital Co., Ltd.

Wasabiの料金体系シミュレーション

Wasabiの最大の特徴は安価であることです。そこでこのパートでは、実際の料金シミュレーションを紹介します。

参照：https://wasabi.com/ja/blog/general/rate-comparison

Wasabi料金シミュレーション

ストレージ容量：**500TB**

データを引き出す回数：**10万回**

データ転送量：**50TB**

料金シミュレーション：**3,495USD**

POINT

課金対象はストレージ容量のみであり、リクエスト数やデータ転送に応じた追加料金は一切かかりません。そのため「当初の想定よりもコストがかかってしまった」という事態を避けられる上、「リクエスト数やデータ転送量が予想できないためコストを試算しにくい」という課題も発生しません。

Wasabiならストレージにだけ課金されるためコストを計算しやすい

© Panasonic Digital Co., Ltd.

ファイルサーバーの容量ひっ迫、コスト削減なら「Wasabi」

ファイルサーバー運用に関する問題を解決する際に重要なのは「コスト」です。Wasabiであれば他のクラウドストレージと比較しても圧倒的に安く利用できます。
なお、Wasabiを取り扱うパナソニック デジタル株式会社（以下、パナソニック デジタル）であれば最小5TBから契約が可能です。
ぜひ、Wasabiを検討の際は、パナソニック デジタルにお問合せください。

クラウドストレージ「Wasabi」を検討の方は、
パナソニック デジタルに
お問合せください

お問い合わせ

ご連絡先

パナソニック デジタル株式会社
大阪本社 TEL：06-6906-2801 住所：〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町2番40号
東京本社 TEL：03-5148-5634 住所：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目21番1号

Panasonic

© Panasonic Information Systems Co., Ltd.